

主な出来事

【内政】

- 特別裁判所の解体
- 新党FR結成

【外政】

- ボンゴ大統領によるFOCAC首脳級会合出席
- ボンゴ大統領のギニア、ブルキナファソ訪問

【経済】

- コミログ社による２０１５年会計の発表
- Airtel ガボン社による4G LTE回線導入
- IMFミッション：ガボン経済報告

【内政】

1 特別裁判所の解体

4日、憲法裁判所は、国内司法機関及び司法機能に係る2015年8月11日付の決定N15/PR/2015を取消し、特別裁判所（経済・金融・貿易犯罪所管裁判所、労働裁判所、特別高等裁判所等）の解体を決定した。（7日付UN）

2 ADERE党内分裂

8日、ポールジャンティにおけるADERE（野党系）の有力党员たちは、ディジョブ・ディウンギ・ディ・ンディング元副大統領（オマール・ボンゴ大統領時代）の支持を取りやめ、フローランタン・ムサブ国民教育・技術教育大臣（ADERE党首）及びアリ・ボンゴ大統領への支持を宣言した。（9日付UN）

3 新党FR結成

結束愛国心前線（FPU）、ガボン国家党（PNG）、国民連帯連合（RSN）、ガボン民主連合（UGD）は、新政党「共和戦線（le Front Républicain：FR）」を新たに結成した。FRに加盟した政党は、政党間の協調戦略のもと、共通の政治目的達成に向けて党方針を決定する。（9日付UN）

4 ボンゴ大統領によるオグエ・ロロ訪問

15日、アリ・ボンゴ大統領は、オグエ・ロロ州を訪問し、地方農業振興政策（GRAINE）の正式開始を発表した。（16日付UN）

【外政】

1 ボンゴ大統領によるFOCAC首脳級会合出席

4日、アリ・ボンゴ大統領は、中国・アフリカ協力フォーラム（FOCAC）に出席し、習近平国家主席との会談にて、投資及び二国間協力関係について議論を行った。習近平国家主席は、ガボン人奨学生の増加及びガボン経済改革に向けて30億ドルの財政支援を約束し、アリ・ボンゴ大統領は、2017年のアフリカ・ネーションズ・カップ開催に向けて、ポールジャンティ及びオイエムにおけるスタジアム建設への協力を要請した。また、レジ・イモンゴ・タタガニ・ガボン持続可能な経済開発・投資促進・計画大臣は、同会合にて、中国工商銀行及び中国エグジム銀行との間でポールジャンティ、オイエムにおけるスタジアムの建設及びMbenga-Farasol間の道路建設に係る融資協定3件に署名した。（4日付、5日付、7日付UN）

2 ガボン・EU協力

当地EU大使は記者会見を開き、ガボンでの多様な分野における政治協力、二国間貿易協力、国際協力事業について発表した。EUは、2014-2020年の間、第11回欧州開発基金（約3億5000万ユーロ）の枠組みのもと、国家・地域レベルでの支援を実施し、ガボンにおける平和と安全の維持、経済・貿易統合、自然資源、生物多様性の管理に貢献してきたほか、ガボン・EU漁業協定、森林管理協定を新たに締結し、連携を強化している。（8日付UN）

3 ボンゴ大統領によるギニア訪問

14日、アリ・ボンゴ大統領はギニアを訪問し、アルファ・コンデ大統領就任式に出席した。（15日付UN）

4 ボンゴ大統領によるブルキナファソ訪問

29日、アリ・ボンゴ大統領はブルキナファソを訪問し、ロシュ・カボレ新大統領の就任式に出席した。（30日付UN）

【経済】

1 中国 Heng Chang Timber による木材加工工場の建設

中国 Heng Chang Timber 社は、マコクにおける木材加工工場の建設計画を発表した。政府による丸太材の輸出禁止措置により、国内木材加工の産業化が進展し、GDPのうち木工品の占める割合は、2009年の0.9%から2013年の2.3%に増加している。（2日付GR）

2 コミログ社による2015年会計の発表

ガボン・コミログ (Comilog) 社は、2015年会計を公開し、マンガン価格の低下、中国経済成長の停滞、南ア及びオーストラリア貨幣の平価切り下げといった国際経済危機の影響を受けつつも、69万トンのマンガン鋼製造目標を達成した旨発表した。（10日付GR）

3 鉱山・産業省による金採掘法に係る三者協議の開催

9日、ルファン・マーシャル・ムサヴ鉱山・産業大臣は、オートオグエ州バクドウ地域のシアン化法による金採掘を検討するため、右採掘法を提案した Ressources Golden Gram (R

GG)社及びレココ県の地域代表との間で三者協議を開催し、安全性等について意見交換を行った。(10日付GR)

4 証券監督者国際機構の中部アフリカ金融市場監視委員会への加盟

10日、中部アフリカ金融市場監視委員会(COSUMAF)取締役会が開催され、証券監督者国際機構(OICV)の加盟が決定された。OICVの加盟により、公正かつ透明性の高い市場の実現、不正行為への取締、投資家保護の強化、ひいては、中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC)における金融市場インフラの確立が期待される。(11日付GR)

5 Airtel ガボン社による4G LTE回線導入

10日、Airtel ガボン社は、パストール・ングア・ヌム・デジタル経済大臣及び通信・郵政規制担当局(ARCEP)立会いのもと、4G LTE回線の導入発表会を開催した。4G回線の導入により、通信速度の高速化及びインターネット環境の改善化が図られる。4G回線の初期サービスエリアは、リーブルビル、アカンダ及びオウエンドであり、2か月後には、ポールジャンティ、フランスビル及びモアンダまで拡充される予定。(11日付UN, 11日付GR)

6 IMFミッション：ガボン経済報告

11月30-12月10日、IMFミッションは当地を訪問し、ガボン経済の課題、ガボン経済成長等につき報告を行った。右ミッションの報告書は、非石油部門の開発の促進、国内財政の効率化、銀行支援策の早期実施等の構造改革を求めているほか、経済情勢の悪化を踏まえた予算編成がなされていないことが、経済成長見込みの低下原因となっている旨伝えている。(12日付GR)

7 採取産業透明性イニシアティブ(ITIE)による市民社会向けアトリエの開催

17日、採取産業透明性イニシアティブ(ITIE)グループは、リーブルビルにて、市民社会向けアトリエを開催した。2013年に加盟国の権利を剥奪された後、ガボンは、ITIE再加盟に向け働きかけを行い、今般、再加盟を果たしている。(18日付GR)

出典：PR(大統領府公式HP)、UN(ユニオン紙)、GM(ガボン・マタン紙)、GN(ガボン・ニュース電子版ニュース)、AFP、GA(Gabonactu.com)、GR(ガボン・レヴュー電子版ニュース)、LG(ル・ガボン電子版ニュース)、GE(ガボン・エコ電子版ニュース)